

埼玉県新座市シルバー人材センター会報

ゆうゆう通信

2026年7月15日 第128号



野火止用水をゆくラブラブの鴨

— 目次 —

- 2頁 第47回 定時総会
- 3頁 「ありがとう よろしく」
新旧理事長交代の辞
- 4頁 令和8年度 表彰者／安全標語優秀作
- 5頁 令和8年度 役員・委員メンバー
- 6頁 シルバーと町内会の連携
19地区と片山町内会の場合
- 7頁 健康ニュース
熱中症対策されていますか？
- 8頁 ゆうゆうエッセイ
あの猫はいったいどこへ
「自転車ルールブック」を読んできた
- 9頁 時事呆言
「あなたの好きな絵本（童話）は？」
- 10頁 ゆうゆうエンタメ
MOVIE/BOOK/HOBBY/SHOGI
- 11頁 親睦会だより
- 12頁 SC掲示板
理事会報告／14地区懇話会
表紙の眩き／訃報／編集後記

第47回 定時総会



6月28日、第47回定時総会が市民会館中ホールで開催され、来賓の挨拶、令和8年度の事業計画が発表されました。

続いて役員人事が満場一致で承認され、新旧理事長の挨拶をはじめ理事や委員の方々の拍手が盛大に沸き起こりました。

なかでも長きにわたって理事長を務められた福島和男氏の退任挨拶には万感胸に迫る思いがありました。お疲れ様でした。

令和8年度センター運営

令和8年度センター運営の基本方針に基づき、次に掲げる項目についてその取り組みを進めてまいります。（抜粋）

(1) 会員の拡大と意識の向上

- ① 入会案内ツールの見直し等会員募集方法の研究
- ② 市広報、折込みチラシ等を活用しての入会の案内工夫と充実
- ③ 移動説明会、女性限定の説明会等入会説明会の内容工夫と充実
- ④ 会員による入会希望者の紹介・運動等入会促進活動の一層の推進
- ⑤ ウェブ入会、窓口入会等入会ステップの拡大とPRの推進
- ⑥ 入会促進、退会抑制等施策の更なる研究

- ⑦ 女性会員の拡大定着に向けた専門委員会等組織の検討と運営
- ⑧ 地域班活動や職群班活動を通じての会員意識の醸成

(2) 就業の拡大、就業活動の支援と適正就業への取り組み

- ① 追加受注や新規就業に向けた開拓活動の強化
- ② タブレット活用手法による就業開拓（PR活動）の推進
- ③ ウェブを活用した受注の拡大とPR活動の推進
- ④ 空き家管理事業体制の確立と広報の充実
- ⑤ センターができる新たな事業の調査、研究と取組み準備
- ⑥ 高齢会員向け就業の研究
- ⑦ アクティブシニアへのイメージアップの取組
- ⑧ 就業相談窓口の充実、就業会員及び就業希望会員への支援
- ⑨ 出張相談や地域拠点型就業相談会の拡大、充実
- ⑩ 就業時研修の充実と就業活動等に必要各種研修・講習の効果的実施
- ⑪ 職群班活動の活性化を通じて、就業意識の徹底やサービスの向上
- ⑫ 会員就業における法令合致、適正就業への留意
- ⑬ 公益財団法人いきいき埼玉（県連合）の実施事務所としての一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）及び有料職

- ⑭ 派遣事業の運営と展開
- ⑮ 派遣事業（シルバー派遣事業）拡大に向けた営業等取り組みの強化

(3) 安全の徹底と健康管理

- ① 「第8次安全対策基本計画」に基づく各種施策の推進
- ② 安全確保と事故防止に向けた安全巡回の実施
- ③ 安全ニュースや安全標語を活用した安全・健康意識の醸成
- ④ 安全就業、健康管理のための各種研修、講習の充実と効果的実施
- ⑤ フレイル予防活動の推進、充実と健康サポーターの育成
- ⑥ 健康・安全カードの活用による会員の健康、安全管理の推進
- ⑦ 賠償事故の撲滅とセンター車両事故防止に向けた取り組みの強化
- ⑧ 特定業務（高所作業を伴う業務等）就業会員に対する健康状態の把握
- ⑨ 高齢就業会員の安全対策研究

(4) 地域班活動の充実と社会奉仕・地域貢献活動の展開と確立

- ① 地域班活動としての地域見守り（児童見守り）活動や地区ボランティア活動の推進、活動への支援とセンター統一ボランティア活動の実施
- ② 市等地域施策との連携と協力
- ③ 地区懇話会をはじめとする地

- 域班活動の在り方の研究、検討
- ④ 地区懇話会で出された意見、要望等の速やかなフィードバック
- ⑤ 地域班活動活性化への支援と地域班だよりを活用した活動情報の効果的発信

(5) 成年後見事業の展開

- ① 法人としての組織体制の確立と充実
- ② 成年後見事業のPRの促進と相談・申立て支援体制の充実
- ③ 市等他機関との連携とネットワーク構築に向けた取り組み
- ④ 後見実務の的確な遂行と新たな受任に向けた取組の推進
- ⑤ 事業を担う担当会員のフォローアップと後継会員の計画育成
- ⑥ 成年後見制度の見直し（法改正）への対応準備

(6) 組織運営等

- ① 公益社団法人としての経営（組織運営、財政運営）の確立
- ② コンプライアンスの確保とガバナンスの確立
- ③ フリーランス新法、改正公益認定法の適確な対応と運用
- ④ センター事業のデジタル化の推進と会員のデジタルリテラシーの向上
- ⑤ 情報発信機能としての会報の更なる充実
- ⑥ センターの魅力発信等センター活動のPR・センター事務局体制の確立と職員のスキルアップ。

前理事長

ありがとう



新理事長

よろしく

前理事長

福島 和男さん
(ふくしま・かずお)

2010年10月、第9代理事長に就任。
理事長在任期間は189か月となり歴代
最長を記録する。

会員の皆様のご協力をいただき、
提案させていただいた3議案の全て
をご承認いただく中で、令和8年度
第47回定時総会、そして理事長として最後の会議を
つつがなく終えることができました。ご協力いた
だきましたこと、改めて会員の皆様に御礼申しあげま
す。

平成22年10月のセンター設立30周年記念式典に合
わせての臨時総会で理事補充選任とその後の臨時理
事会で理事長職をお受けすることとなつてから今日
まで、通算15年と9か月。前任理事長の体調不良に
よる任期途中の退任によって《ピンチヒッター・つ
なぎ》の位置づけの理事長と捉えていました。

しかし、時同じくしての公益法人制度改革による
公益社団への移行準備と手続そして公益社団法人へ
の衣替え、その後に続いた全国のシルバーに例を見
ない成年後見事業の導入準備と事業認定の手続、平
成から令和へ移る時代の変遷、そしてコロナ禍とセ
ンター活動への様々な影響、さらにシルバー人材セ
ンター事業そのものを大きく変容させることとなつ
た《インボイス制度、フリーランス新法》の新たな
法制度の出現による環境変化等々、状況変化の中
で、後任にセンター運営をお願いする時期を掴み切
れないまま今日に至ってしまったことも事実であり
ました。

課題を残しながらも、ひとまずの大きな変化の時
期を終え、新しい風、新しい力を求める時となつた
のかなと判断させていただいた次第であります。

改めて、長い間、本当に長い間、多くの素晴らし
い先輩方、そして会員の皆様には、理事長として立
てていただきましたこと、そして温かく見守り、支
えていただきましたことに心から感謝と御礼を申し
上げます。

ありがとうございました。



新理事長

細沼 栄さん
(ほそぬま・さかえ)

1955年新座市生まれ。日本大学文
理学部卒業。朝霞市役所などを経て
2020年3月にSCに入会。22年6月理
事に就任し、総務委員長を務める。

皆様こんにちは。令和8年6月28
日の公益社団法人新座市シルバー人
材センター第47回定時総会並びに臨
時理事会におきまして、会員並びに理事の皆様のご
賛同を得て当センターの理事長に就任いたしました
細沼栄でございます。福島前理事長の後を引き継
ぎ、身の引き締まる思いと責任の重さを痛感してお
ります。皆様どうぞよろしくお願い致します。

はじめに、福島前理事長におかれましては長年に
わたり当センターのけん引役として、リーマンショ
ックや、コロナ禍など時代の荒波の中で強いリーダ
ーシップを発揮していただき、センターの発展にご
尽力いただき誠にありがとうございました。

さて、ご存じのとおり我が国は少子高齢化が急速
に進み、超高齢化社会となり団塊の世代の方々が75
歳以上の後期高齢者となり、また15歳から64歳の生
産労働人口が減少し、現役世代の下支えや地域社会
の担い手として、地域経済を支える労働力としてシ
ルバー人材センターへの期待はますます大きくなつ
ております。

こうした状況の中、多くの高齢者の皆様が働くこ
とを通じて生きがいを得ると共に地域貢献を行い、
社会の一員として活躍していただきたいと考えてお
ります。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症以来会
員数の減少や契約金額の伸び悩みが続いておりま
す。令和8年度の事業計画において、センターの活
力回復と活性化を進めるため「会員の確保・拡大」
と「就業の場の確保・拡大」を掲げ、会員の皆様が
明るく元気に、楽しく就業し、生きがいをもって健
康で地域に活躍できるように進めてまいります。

最後になりますが、会員の皆様とコミュニケーシ
ョンを大切にして、地域や会員の皆様への感謝の気
持ちは忘れずに、皆様に喜ばれ信頼されるセンター
とするため、理事・監事・事務局職員一丸となつて
当センターの運営に取り組んでまいりたいと考えて
おります。皆様方のご協力をお願いいたします。

◆センターの発展に貢献し功績が顕著な事業所団体等

久留米建機サービス(株)	継続 5 年以上
社会福祉法人常盤会	継続 5 年以上
野火止保育園	継続 5 年以上
ライオンズマンション ひばりヶ丘第 3 管理組合	継続 5 年以上
志木ハイツ管理組合	継続 5 年以上
斉藤 真男	継続 5 年以上
(有)シゲノ	継続 5 年以上

◆センター役員に引き続き 2 年以上在任し退任した者

(故)半田 茂	理事	8 年
清水 陽介	理事	10 年
浅野 信夫	理事	6 年
三宅 新吾	理事	2 年

◆各委員会等の委員若しくは役員としてその功績が顕著であると認められる者

(故)半田 茂	業務委員	9 年
前迫 シヅエ	会員開発委員	8 年
井上 陽一	地域活動委員	6 年
立川 正雄	安全委員	4 年
萩原 千津子	成年後見委員	2 年
三宅 新吾	成年後見委員	3 年 1 か月
高瀬 好英	親睦会	7 年 9 か月
野口 伸	親睦会	9 年
井出 竹安	親睦会	8 年

令和 8 年度 表彰者

◆公共善を行いセンターの名誉を高揚させる等、賞賛に値すると認められた者

島村 正壽	消火活動協力者として
小池 弘泰	新座消防署より表彰

◆地区長、地区委員及び職群班長、副班長として 3 年以上に亘りセンター事業に貢献しその功績が顕著であると認められた者

平尾 實	職群班長・副班長	3 年
栗本 宗津男	職群班長	4 年
溝田 博和	職群班長	3 年
畠山 健	職群班長	3 年
渡辺 俊明	地区長・地区委員	6 年 4 か月
立川 正雄	地区長	6 年
島津 和人	地区長	6 年
佐藤 義之	地区長	4 年 5 か月
藤田 武男	地区委員	14 年
矢口 英子	地区委員	8 年
佐藤 鈴子	地区委員	7 年
岡田 征昭	地区委員	6 年
七木田 浩	地区委員	6 年
小林 さくら	地区委員	5 年
小菅 さちよ	地区委員	4 年
堀川 君枝	地区委員	4 年
齋藤 チヅ子	地区委員	3 年
松本 眞治	地区委員	3 年

令和 8 年度 安全標語優秀作（敬称略）

《優秀賞》

続けようフレイル体操 身体貯筋 中村 和明

《入選》

熱中症 かかる前に水分補給

自分で守る自分の命

林 文雄

《入選》

危険を見つけて取り組む改善リスクを減らして
進める安全目指すゴールは事故ゼロ 藤田 秀幸

《佳作》

安全は 右見て左見て我を見て
護る勇気で皆んなの笑顔

土屋 芳夫

《佳作》

事故招く慣れと緩みと思い込み
声を出しての耳で確認！

石上 健藏

《佳作》

作業前心と体にヘルメット
急がずあわてず安全作業の心がけ！ 細沼 喜好

令和8年度 役員人事決定

新任
挨拶

理事長
細沼 栄

副理事長
石井 修

理事
金枝 久子

前迫 シヅエ

太刀川 和男

中村 和明

小松 正

島津 和人

雨宮 和善

石原 智

斉藤 俊博

山野 邊 範一

伊藤 智砂子

平野 静香

片山 佳則

内堀 敏朗

佐藤 規

小松 正

平成28年5月SC入会。
現在会員開発委員。

新堀1丁目在住。

島津 和人

平成30年11月SC入会。

現在地域活動委員。

野火止6丁目在住。

雨宮 和善

令和3年2月SC入会。

現在業務委員。

野火止6丁目在住。

石原 智

令和5年2月SC入会。

現在総務委員。

石上5丁目在住。

斉藤 俊博

令和6年SC入会。

現在就業開拓委員。

東1丁目在住。

伊藤 智砂子

新座市議会厚生常任

委員会委員長。

佐藤 規

新座市財政部財政課長

部会・委員会メンバー

一部、人事異動がありました。令和8年度の
部会・委員会の新たなメンバーを紹介します。

理事会

組織活動部会

部会長 太刀川 和男
部付理事 平野 静香

総務委員会

委員長 石原 智

委員 高橋 悠紀子
野田 重夫
中澤 孝

会員開発委員会

委員長 小松 正
副委員長 小林 俊一

委員 浅見 功正
黒子 雅弘
土屋 ふさ子
大石 英太郎

広報委員会

委員長 太刀川 和男
副委員長 大島 直次

委員 吉田 紀生
尾形 三津子
梁川 淑広
横山 明良

業務委員会

委員長 雨宮 和善

委員 佐藤 静子
磯野 博子
立川 富士江
小野 ひさ子

安全委員会

委員長 中村 和明

委員 清見 健英
松本 章子
林 土屋 芳夫

就業開拓委員会

委員長 斉藤 俊博

委員 牧 喜代美
久保 徹夫
清水 陽大介

地域活動委員会

委員長 島津 和人

委員 日比野 隆三
大和田 進
相澤 利也

成年後見委員会

委員長 金枝 久子
副委員長 柳澤 眞理子
副委員長 内藤 孝一

委員 棚橋 拓次
高森 英一
山田 美知子
萩原 千津子

女性活躍推進プロジェクト（組織検討中）

リーダー 前迫 シヅエ

委員 佐藤 智英子
穂積 真澄
安楽 貴

シルバーと町内会の連携

19地区と片山町内会の場合

シルバー十九地区（片山）では、地区長が片山町内会（以下、町内会）の総会・理事会等に出席させていただき、情報を交換しながら相互の活動を把握できる環境にあります。シルバー片山の町内会との関わりは大きく分けて、①町内会主催のイベント開催に当たりその都度、町内会からの依頼に基づき行う会場準備、安全見守り、駐輪場の整理等の警備一般と、②町内会との取り決めてシルバー片山が主体的・継続的に行う児童見守り、防犯パトロール、児童遊園の除草整備等の活動に分かれます。②の活動には町内会から助成金をいただいております。

①町内会主催のイベント

◆春に町内会が開催する「春のコンサート」（片山小体育館）における会場整備。シルバーも一緒に楽しみます。



片山こんなに人がいたんだね



体育館に椅子を並べて、さあ開演



◆餅つき、いも煮会における会場・駐輪場の警備



親子の餅つき体験



売り出し前から長蛇の列



駐車場へご案内

シルバーにもつきたてのお餅がお土産に。美味しかった！

◆夏まつり（盆踊り）における会場見守り、駐輪場警備。

②シルバー主体の活動

◆防犯パトロール（夜廻り）毎月第一・第三金曜日午後六時半頃から一時間弱のパトロールを実施。町内



見守り副隊長の並木さんガンバレ！



皆勤賞の折原隊長

を二つのブロックに分けて交互に廻ります。夏のパトロール後の冷えたビール、冬のパトロールの後の焼酎お湯割りがなんとも言えません。冬の寒い夜、拍子木を打つとカチーンという音が静寂を破り長く響き渡ります。

◆児童見守り、片山小生徒の下校時見守りで見守り隊八名が原則二名体制で各自担当の曜日に前原橋通り交差点（信号あり）に立ち児童の安全を見守っています。見守り隊も高齢化し、自分たちの安全も考えなければなりません、児童たちの



高齢化する会員の体調に充分気遣いつつこれからもワイワイ話をしながら楽しくやりたい



笑顔と、ありがとうございます。と声にまだまだ頑張るぞと決意を新たに。◆児童遊園の除草、町内にある児童遊園のうち、比較的大きい二つの児童遊園について、それぞれ年に三回から四回除草清掃しています。シルバー片山会員が毎回10～15人程度参加してくれます。

【更なる連携を求めて】

地区ボランティア活動の一環として町内会との連携をいかに深めていくか地区委員と共に模索しながら活動を続けていきたいと思ひます。（横山）

健康ニュース

熱中症対策されてますか？

新座市保健センター保健指導 第2係

熱中症とは？

熱中症とは、高温多湿な環境に、私たちの身体が適応できないことで生じる、めまい、頭痛、吐き気などさまざまな症状の総称です。

熱中症患者のおよそ半数が65歳以上

高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能やからだの調整機能も低下しているので、注意が必要です。

熱中症死亡者のうち高齢者の割合は**8割超**といわれています。

熱中症予防5つのポイント

① 高齢者は上手にエアコンを

高齢者や持病のある方は、暑さで徐々に体力が低下し、室内でも熱中症になることがあります。節

電中でも上手にエアコンを使っていきましょう。

② 暑くなる日は要注意

熱中症は、暑い環境に長時間さらされることにより発症します。

特に、梅雨明けで急に暑くなる日は、体が暑さに慣れていないため要注意です。猛暑の時は、エアコンの効いた室内など、早めに涼しいところに避難しましょう。

③ 水分は

こまめに補給

高齢者は暑さやのどの渇きを感じにくい傾向があります。

のどが渇く前に水分補給をしましょう。汗には塩分が含まれています。大量の汗をかいたら、水分とともに塩分も取りましょう。ビールなどアルコールを含む飲料は、

かえって体内の水分を出してしまふため水分の補給にはならず、逆に危険です。また、就寝中も汗をかくので、寝る前の水分補給も忘れずに！

④ 「おかしい？」と思ったら病院へ

熱中症はめまい、頭痛、吐き気、倦怠感などの症状から、ひどいときには意識を失い、命が危険になることもあります。「おかしい」と思ったら、涼しいところに避難し、医療機関に相談しましょう。

⑤ 周りの人にも気配りを

自分のことだけでなく、近所で声を掛け合うなど、周りの人の体調にも気を配りましょう。

クールオアシスにいざ

令和8年度から夏季外出時に休憩できる冷房の入った涼み処（クールオアシス）及び「熱中症特別警戒アラート※1」が発表されたときに危険な暑さから避難できる

場所として市長が指定した施設（クーリングシェルター）が一体化され、呼称が「クールオアシスにいざ」となりました。主に市内公共施設が指定され、各施設の開庁時間内に利用できます。

※1 熱中症特別警戒アラート・・・都道府県内において、全ての暑さ指数情報提供地点における翌日の最高「暑さ指数※2」が35に達すると予測される場合に発表され、防災無線でお知らせします。

※2 暑さ指数・・・人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標です。



ゆうゆうエッセイ

あの猫は

いったい何処へ

野火止8

コミセンの山ちゃん

我が家は妻と二人です。たまに孫が遊びに来ます。くわえてシーズー犬の「パ

タ」と暮らしています。

パタはちよつと足が弱く、ヨロヨロとなつちやいます。でもグルグル元気です。

私の膝の上にじつとして

いる時もあります。心なごみ、癒され、大切な家族の一員

です。今のパタは二代目で

初代パタは二十年も生きて

くれました。いとおしかつ

たです。

私は新潟県十日町市の松

之山温泉の出身ですが、雪

深い田舎町です。最近熊

も出没して大騒ぎです。

そこでの子供時代、実家

には猫がいました。私によ

くなつて、いつもそばに

いて可愛くてたまりませ

んでした。夜は一緒に寝

たりとか。

と。



でも小学生上学年になるとだんだんうつとうしくなり、近づかないよう手ではねたり、投げちゃったりしたことも。

やがて、その猫はいつの間にか家からいなくなり

した。いなくなっても何

気に留めない酷い私でし

た。

この頃、膝の上のパタを

みていると、あの頃の私

はどうしてあんな意地悪

だったのか。あの猫はど

うだろう、よそで幸せに

暮らせたろうか、寂しく

苦しただろうなとかいろ

ろ考える時があります。

でももう子供時代に

戻ることできません。た

だあの時の私のしたこと

に申し訳ないとい心の中

で後悔の毎日です。

いまパタを観ています。

ソファの上ですつと寝た

まです。動かないその姿

何とも言えません。

と。

と。

と。

と。

と。

と。

と。

「自転車ルールブック」を読んでみた

北野3丁目 吉田紀生

昨年九月に警察庁交通局が発行した『自転車への交通反則通告制度（青切符）の導入』『自転車ルールブック』をじっくりと読んでみた。

このルールの大意は自転車の乗り手が安全に走行して欲しいという強い注意喚起であつて、当然のことながら反則金の徴収が目的ではないということだ。

ママチャリ歩道走行に

関しては、もし咎められても

「徐行して走つて下さい」と指導警告されるだけのもの。はつきりとこのルール

ブックに書いてある。

但し（そうです但しがつ

きます）青切符の対象とさ

れる事項は、歩行者、運

転者双方の安全を守る為、危

険な走行をピックアップし、

反則金の対象としている。

これが目的で有る事が分る。

これが今回のポイント。

以下のような、自転車

が引

き起こす事故原因の行為が、ターゲットとなり青切符の対象となる。

①ながらスマホ運転

携帯電話使用時（交通の危険）



携帯電話使用時（保持）



②遮断機の下りた踏切侵入。一時停止無視

遮断踏切立入



2人乗りをしながら、赤信号を無視



③ブレーキのついていない自転車走行

④複合（傘差し・逆走など二つ以上重複等）行為

⑤刑事罰手続き対象の重大

傘を差しながら一時不停止



酒酔い運転、酒気帯び運転



違反。並びに警察官の警告等の故意の無視逃亡
自転車での歩道走行は、車道寄りに規定されているのは何故か？

歩道路外の施設や交差道路から出てくる自動車との距離を幾分かでも長い方が、出てくる者に自転車を発見しやすく、ブレーキをかける時間を確保し、事故防止するためとある。一瞬という時間の大切さなのだ。

改めて読んでみると、なるほどと思わせることが書かれていた。

自転車は車道走行が原則だが、歩道走行は13歳未満と70歳以上が、ルールに従えば常時走行可とある。それは歩道の車道よりを、歩行者を邪魔せず、何時でも直ぐに停止出来る速さで走行するという事だ。

とにかく歩行者第一と、気をつけて走行すれば、違反と言われませんね。シルバー人材センターの会員の多くはこれに該当するのではないだろうか。

（イラストはルールブックから拝借しました）

言いたい放題 時事 采言



「あなたの好きな絵本(童話)は？」



▶ 法華経への深い信仰—宮沢賢治◀

東北の風景は何処も哀愁に満ちて私を魅了し、東北人も又私を引き付けて止まない。宮沢賢治はその花巻で明治29年生まれ、昭和8年に永眠した。彼の作品を読んだ事のない人でもその題名は知っている。銀河鉄道の夜、風の又三郎、セロ弾きのゴーシュ、等々。

作品をもう少し深く理解する上で、欠かせないのが、法華経への深い信仰がある。理屈より実践に重きを置いた生き方である。「蔵の宝より体の宝、体の宝より心の宝」彼の人生観が読み取れる。子供時代に読んだ絵本を読み返すと、別の作品のようである。今、手元には、殴り書きの乱筆の手帳のコピーがある。雨二モマケズ・・・。(哀愁に充ちた男 道場78歳)

▶ ウクライナ民話「てぶくろ」◀

娘が3歳になる頃、編集専門学校で学び直しをしていた。教材の中にウクライナ民話の「てぶくろ」が使われていた。ネズミやカエルやウサギの小動物から狼や猪や熊など悪役の多い動物までたくさん出てくるので、子供は喜んで聞いていた。十数年の間を置いて2番目に生まれた男の子も同じ本を何度もせがんだ。民族問題とか反戦とかを下地にした本ともいわれるが、純粋に動物たちのほのぼのとした優しさが出ていて子供にとっては魅力的な本だったのだ。今手元にある本は、表紙が破れ頁の中には鉛筆のラクガキがあって悲惨な状態になったが、子々孫々に受け継がれてほしい本の一つだ。(子供帰りをしたい男 野火止79歳)

▶ 野ネズミの「ぐりとぐら」◀

自分の子供に読んだ絵本の記憶は殆どないが、孫に読み聞かせたことは、昨日のここのように憶えている。一番記憶に残っている絵本は、中川李枝子作の「ぐりとぐら」であろうか。昼間は勿論、夜の布団の中で何回読んだらう。布団の中で孫が眠そうなので、適当に端折って読むと“おじいちゃん違うでしょ！何々でしょ”って得意顔で指摘されたな。文字は読めなくとも全て記憶しているのだ。幼児はなぜ同じ本を何回も読むことをせがむのか。認知症の老人が同じことを何回も何回も繰り返して話すのは、幼児に戻ったということなのかと思ったりしている今日この頃である。(東京流れ者 片山79歳)

▶ 「こどものとも」年少版◀

福音館書店の幼稚園児向け24ページ建ての絵本で、今でも毎月発行されている。子供が年少組の時にもらってきた絵本雑誌だった。本が好きな娘は沢山ある絵本の中でもこのシリーズが特にお気に入り。今でも本棚の一角に陣取っている。

彼女が寝る時この絵本を私に読ませるのが楽しみだったようで、私がページを飛ばすと、「違うよ」とパッチリ目を開け、始めから読み直してと言って眠りに就く。それは毎晩のことでした。

長じて娘は“本の虫”となり、今でも時間があれば図書館に通っている。

(眠りながら本を読む女 東北76歳)

▶ 川柳人による新解釈「浦島太郎」◀

コピーライターの仲畑貴志さんが選者を務める毎日新聞の「万能川柳」欄に、「浦島太郎」の新解釈句がまれに載る。連載35年、投句はがき毎月1万通以上という中で「浦島」「乙姫」「竜宮」「玉手箱」の検索に引っかかる掲載句は100足らずだが、普及版ストーリーより親しめて私は好きだ。まず、太郎は助けた亀の背に乗って竜宮城に行ったが、「乙姫も亀いじめる子もグルの説」と善意の関係に疑義。饗応の料理は「竜宮城舞いをトチってお刺身に」とタイやヒラメの悲しい末路だ。土産にもらったのは「開けるなど言うなら渡すな玉手箱」。確かに「聞きたいね、浦島太郎の後日談」。(素直な童話も好む男 北野69歳)

▶ ブレーメンの音楽隊◀

子供が小さい頃、毎晩寝る前に「絵本を読んで」とせがまれた物語が沢山あります。グリム童話の一編で、人間に捨てられ、または食料にされようとしていた動物たちが協力して新生活を切り開いていく話で、若い頃の私はただ、フンフンとこの本を読み聞かせていただけでした。今、読み返してみると「自分もこのままではいけない、何とかしなくては・・・。今更どうする？」と焦る私がいいます。贅沢は無理でもささやかな楽しみもあるし、体が許す限り仕事しながら、社会と繋がってたいのです。欲張りでしょうか？ちなみに音楽隊の銅像はブレーメン市庁舎の一角にありました。(童話大好きバーバ 東75歳)

私の ゆうゆう エンタメ

映画 音楽 文学 芸能 スポーツ などなど

会員の皆さんのこれまでの人生で、心に残った経験や作品や1シーンなどをご紹介ください。ジャンルは問いません。約380字と写真やイラストです。

MOVIE

（大和田5 ごみちゃん）

「SAKAMOTO DAYS サカモトデイズ」

目黒蓮主演の映画「サカモトデイズ」を見た。監督・脚本は福田雄一で、4月29日封切りだった。史上最高の殺し屋・坂本太郎が恋に落ちて結婚し、坂本商店を営む。愛する妻子のために殺しはしないと宣言したのだが突如として10億円の懸賞金を掛けられ、命を狙われる羽目に。原作は集英社「週刊少年ジャンプ」に連載中の人気漫画（作者：鈴木裕斗）。食べまくって太り過ぎた太郎（推定140キロ）が、派手なアクションでカロリーを大量消費したあとに一時だけスリムなボディに戻り、アウトローな雰囲気漂わせる。また、上戸彩演じる妻の恐妻家ぶりにも笑える（ちなみに福田監督も恐妻家らしい）。特殊メイクで太らせた身体でのアクションはきついはずだが、スタントマン起用の提案に目黒（愛称めめ）は「挑戦したい」と答えたとか。ほかの殺し屋集団もイケメン揃いで、めめファンならずとも、わくわく感が半端でなかった。



Book

（片山1 Y.I.）

周五郎と耕太郎に惚れた

若い頃、知人に勧められて山本周五郎の「さぶ」を読み、すっかり彼のファンとなり、彼の作品を読み漁った。その後、周五郎短編集の解説でノンフィクション作家・沢木耕太郎が解説文の中で、こんなことを書いていた。

彼が若い頃、中東への一人旅で、砂漠を黙々と歩いていた。向こうから日本人らしき若者が近づいてきた。お互いに懐かしさを覚え暫く話をした。別れ際にお互いに持っている本を交換することにし、沢木は山本周五郎の「さぶ」を手に入れた。彼はその場に座り込み、本をめくった。小説の書き出し「小雨が霽のようにけぶる夕方、両国橋を西から東へ、さぶが泣きながら渡っていた」を読み出した。涙も涙もなく涙が溢れ、砂に吸い込まれたと。この解説文を読んで私は沢木が好きになり「敗れざる者たち」「一瞬の夏」「深夜特急」など彼の作品を夢中になって読んだ。最近も周五郎の「日本婦道記」を布団の中で読んでいたら、思わず枕を濡らしてしまった。



Hobby

（野火止7 O.M.）

今年も日本ホビーショーを楽しんで

5月8日(金)～10日(日)に東京ビッグサイトで「第50回日本ホビーショー」が開催されました。東の端1階にあるホールが会場で、昨年よりも小さなブースが並びました。女性向きの手芸関係ブースが多いのですが、3Dプリンターや工具、素材、ジオラマ材料などの法人ブースもあるので男性来場者も多かったです。土日には家族連れが多く、特にシルバニアファミリーのワークショップが子供達に大人気でした。私は今年は目の調子が悪いため細かい手芸のワークショップはあきらめて、同時開催のホビー・クッキングフェアの会場を回りました。壁いっぱいインスタントラーメンが展示された日本即席食品工業協会のブースでは、インスタントラーメンクイズに参加。クイズの1つは「日本初のインスタントラーメンは何年に誕生したでしょうか」でした。答えは壁面のラーメンの中であって、3問正解のお土産がエースコックのワンタンメンでした。*答えは1958年です。



SHOGI

（野火止7 大島 直次）

藤井聡太の放った「毒まんじゅう」

将棋の世界では、毒まんじゅうを食わすとか食われるといった表現がメディアなどで使われる。先ごろ終局した第84期将棋名人戦でも使われて話題を呼んだ。

その第3局、藤井聡太名人が挑戦者の糸谷哲郎 九段に放った4五歩がそれ。藤井は自陣の角頭に歩を打ったのである。誰が見てもその歩は糸谷の自陣にある5六銀にただで取られる運命に晒されている。

しかし取ればその後の展開で形勢不利となり、敗着に繋がることは明らかだった。かといって糸谷にはほかに有効な手はなく、銀で歩を喰った。藤井はその銀をめがけて5



三に桂を打ち、以後、じわじわと戦局を優勢にし、最後は約40手を読み込んで勝ちとなった。

4五歩はまさに「毒まんじゅう」の効果があつたことになる。将棋は実に面白いが、実に恐ろしいゲームでもある。

▼親睦会だより（令和8年度 親睦会総会）

―新しい出発 会員の期待大―

会員の皆様には日頃より親睦会事業にご理解とご協力いただきありがとうございます。

令和8年度の総会は、6月28日（日）市民会館中ホールにてSC定時総会にひき続き開催しました。

今回は以前のような感染症の心配も無く参加者の方々は明るい笑顔で落ち着いた様子でした。

親睦会事業はSC事業と違い、常日頃の疲れを癒やし、日帰り旅行・新春のつどいの交流会・文化祭等を通じて絆・仲間づくりを基本とした会員相互の交流が目的になっております。

今年度の主な事業日程

●サークル代表者会議

平成8年7月22日（水）
サークル助成金について
も会員数に比例して配分。

●カルチャー講座

スマホ講座日程については後日ご連絡します。

●新春のつどい

令和9年1月23日（土）
年の初めに挨拶と元気を確かめ合う場として開催。

●親睦会文化祭

令和9年3月7日（日）
引き続き親睦会単独で新座市民会館中ホール及びホワイエにて実施します。すでに開催日程も決定しています。今から準備して会員皆様にご満足いただけるように検討します。
令和8年度の親睦会役員は4名のフレッシュ役員が加わり、総勢13名でスタートいたします。

役員一同皆様のご期待に添えるよう努力いたしますのでご協力ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。
（会長 後藤 勝義）

令和8年度 親睦会役員

会長 後藤 勝義（大和田）
副会長 石井 修（大和田）
副会長 阿河 孝雄（大和田）
副会長 五味 輝子（大和田）
会計 田中ハツエ（新座）
幹事 橋本 淑子（野火止）
幹事 小菅さちよ（あたご）
幹事 大野 恒夫（野火止）
幹事 谷中 照子（野火止）
幹事 佐藤 峯夫（畑 中）
幹事 門瀬 吉巳（野火止）
監事 内堀 敏朗（石 神）
監事 吉川 京子（大和田）
※新役員は太字で表記



センター副理事長、センター会員監事は第47回センター定時総会及び臨時理事会で選出を受けております。

春の日帰り旅行

5月24日、参加者38名を乗せたバスは新座市を7時には出発。目的地は栃木県真岡市の大前（おおさき）神社・大前恵比寿神社、外池（とのいけ）酒造、益子焼の窯元見学と食事です。

一日中曇りの予報でしたが、寒過ぎず暑過ぎずまずまずの天気でした。驚いたのは東北道が拍子抜けするほど空いていて、最初の目的地である大前神社には予定より早く到着。

その境内に、宝くじなど一等がよく当たるとマスコミでも評判の大前恵比寿神社があります。本殿の上には日本一のえびす様が立っていて、社殿の中の「幸せの黄金釜」の中に宝くじなどを入れて鈴を鳴らすとご利益があるとか。

次にバスは益子町の外池酒造へ。門をくぐるとひんやりとした空気とほのかな米の香りがふわりと鼻をくすぐるのです。試飲カウ



など口に含むとするりと喉に滑り落ち、後からじんわり甘みが広がるので「危ないね、これ、うまい！」試飲後に、有料でお代わり。財布の紐も緩み、レジには長い列。つまみの燻製豆腐や葉唐辛子のもち味漬け等土産物も大評判でした。昼食は陶芸の森 長谷川陶苑。食事の前に益子焼のギャラリーを見学。棚いっぱいには並んだ器は素朴で温かな質感と厚手でどっしりとした形。多彩な釉薬による重厚な色合いの個性的な器が多かったように思いました。最後に「道の駅ましこ」にも寄ってさらに買物三昧。帰りの東北道もスイスイ。大急ぎで恒例のビッグ大会。TVで大相撲を見ながら夕方6時頃には皆帰宅できたようでした。

理事会報告

令和 7 年度

第 11 回 (3 月 30 日開催)

① 正会員 (3 月分) 男性 9 名、女性 16 名 合計 25 名の新規正会員の入会が承認された。

【3 月末日現在 1、6 4 7 名】



② 2 月分の実績について報告された。

③ 令和 8 年度事業計画(案)について決定された。

④ 令和 8 年度収支予算(案)について決定された。

⑤ 公益目的事業の種類又は内容について決定された。

⑥ 公益社団法人新座市シルバー人材センター役員の報酬等及び費用に関する規程の改定について承認された。

令和 8 年度

第 1 回 (4 月 27 日開催)

① 正会員 (4 月分) 男性 14 名、女性 11 名、合計 25 名の新規正会員の入会が承認された。

【4 月末日現在 1、6 5 4 名】

② 3 月分の実績について報告された。

③ 令和 7 年度事業報告について承認された。

④ 令和 7 年度計算書類及び付属明細書並びに財産目録について承認された。

⑤ 令和 7 年度公益社団法人新座市シルバー人材センター補正予算 (第 1 号) について決定された。

第 2 回 (5 月 29 日開催)

① 正会員 (5 月分) 男性 10 名、女性 8 名、合計 18 名の新規正会員の入会が承認された。

【5 月末日現在 1、6 5 8 名】

② 4 月分の実績について報告された。

③ 令和 7 年度事業報告・令和 7 年度計算書類及び付属明細書類並びに財産目録について確定された。

④ 第 47 回定時総会の召集について確定された。

⑤ 第 47 回定時総会の議案について確定された。

⑥ 第 47 回定時総会被表彰者について承認された。

⑦ 監査報告が報告された。

第 5 ブロック 14 地区 懇話会

2026 年 4 月 19 日 (日) に東ふれあいの家で新年度懇話会が開かれました。

4 月にスタートした自転車の交通ルール、反則金についてなどの説明が埼玉県

警から 2 時間びっちりありました。

このため予定していた懇話会の時間がなくなってしまう、懇話会は日を改めて行うことになりました。

反則金制度の効果だと思

いますが、車を運転されて

いる方もかなりルールを守

っている感じがします。

歩行者として横断歩道に

立つと車は必ずと言ってい

いほど停まってくれます。

また、運転している方が携

帯を使う時は歩道端に停車

しているところをよく見か

けるようになりました。

ただ、懇話会の講話は参

考になりましたが、生活道

路を通り抜ける車のスピー

ドは相変わらずなところが

あり、恐怖を覚えています。

事故が起きないうちに 30 キ

訃報

土居 文雄様 (80 歳)

野火止 1 丁目

瓶子 信一郎様 (76 歳)

新堀 2 丁目

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

口規制をするなり、何らかの規制をしてほしいと思うこの頃です。

【表紙の呟き】 春の景色と用水沿いを歩いた。近頃では珍しくない鴨二羽だが、なんとも仲の良さそうなソブリ。年寄りに見せつけながら、二羽だけの世界を楽しんでいた。そう感じたのは、こちらの僻みかなあ (吉田)

編集後記

新年度に入り、大変な変革がありました。理事長の退任と理事の交代です。詳細は本編をご覧ください。

19 地区では町内会との連携活動が行われているとの情報があり取材をさせて頂きました。色々と共通点も多く、これからのセンター活動の一つの指針になる事案だと思われました。

会員の方々はその方面の経験豊富な「レジェンド」だと思われ、ぜひ経験や体験談をお聞かせ下さい。また地域活動や就業場所でのいろいろな情報がありましたら、ご連絡下さい。(館)

